

有機フッ素化合物（PFOS および PFOA）の水質検査の結果の公表について

有機フッ素化合物の代表例なものとして PFOS および PFOA が各地の水道水から検出される報道を受け、玉城町におきましても上水道の水質検査を実施しました。

今回の検査は、玉城町山岡上水道水源地における原水のみ対象とし、その検査結果は暫定目標値を大きく下回っており、安全性が確認できました。

水道施設名：玉城町上水道山岡水源地

採水地点：山岡水源地着水井

水源種別：深井戸・原水

水質管理目標設定項目	暫定目標値	採水日	検査結果
PFOS および PFOA	50 ng/L 以下	令和 6 年 1 月 23 日	1ng/L 未満

PFOS・PFOA とは

- 有機フッ素化合物の一種でコーティング剤、泡消火剤、半導体などに用いられた物質ですが、いったん自然界に出ると長時間、分解されず環境中に留まることが分かっています。
- 人体へ影響として、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されており、世界保健機関（WHO）の国際がん研究機関は、PFOA に発がん性があると認定しました。
どの程度の量が体に入ると健康への影響が出るのか、明らかにされておらず、これらの物質の健康への影響について、日本でも研究を本格化させるとしています。
- 厚生労働省では、水道水について「PFOS 及び PFOA の量の合計値として 50ng(ナノグラム)/L 以下」とする暫定目標値を設定していますが、この数値は体重 50 kg の人が生涯にわたって水を毎日 2 L（リットル）飲用しても、この濃度以下であれば健康に影響が生じないと考えられる水準を基に設定されています。

※ng（ナノグラム）とは、1 ng は 10 億分の 1 g（グラム）・百万分の 1mg（ミリグラム）

※深井戸・原水とは、地表より 33m の井戸地下水から取水する水道のもとになる水